

## 令和元年度 工事監査結果報告書

### 1 監査の対象

岐阜市民病院重症患者管理病床整備第 I 期建築主体工事

※工事の概要は別紙のとおり

### 2 監査の期間

令和元年 11 月 25 日から令和 2 年 2 月 12 日まで

### 3 監査の方法

令和元年度において施工中の工事のうち、建築工事 1 件を抽出して、工事の計画、調査、設計、仕様、積算、契約、施工管理、監理（監督）、試験、検査等が適正かつ効率的に執行されているかについて調査するため、書類調査を行い、令和 2 年 1 月 15 日に現地調査を行うとともに、関係職員に対して説明を求めた。

なお、工事技術面の調査については、公益社団法人大阪技術振興協会との工事技術調査業務委託契約に基づき、技術士の派遣を求め、書類調査及び現地調査を行った。

### 4 技術士の「総評」「所見」の概要

#### (1) 総評

書類調査では、工事請負契約、建設計画全般、施工監理、管理について調査を行った結果、問題はなかった。品質書類についてもよく整理されていた。

現地調査では、軽微な改善点があったが、特に大きな問題はなかった。

#### (2) 所見

##### ア 工事の目的

集中治療室（ICU）での治療に近似したレベルの高度医療が必要な重症患者管理病床（HCU：高度治療室ともいう）の必要性が注目されており、岐阜市民病院でもその充実を計画していた。

ベッド数についての計画根拠を質問したところ、岐阜市民病院の平成 30

年度新規入院患者数は 13,434 人、今回整備するHCUへ入室する延入院患者数は 4,629 人・日を想定しており、病床全体の稼働率を約 60%と見込んだ場合に 20 床程度が必要となることから、20 床を新規に整備するもので、過不足ない計画ということであった。

なお、うち 4 床は感染症患者に対応可能な個室である。

## イ 書類調査

### (ア) 設計図書に関する書類について

仕様については、他病棟や 5 階HCUの仕様も照合し、標準仕様書、特記仕様書、設計図への所要事項の記載や詳細図などの図面の不足はなかった。シックハウス対策についての材料の仕様や、VOCの検査測定方法も特記仕様書に詳細に記述されていた。

設計図に、工事エリア、区画、避難経路などの仮設計画が図示されており、患者や医療関係者への配慮を明示していた。

設計図書、数量積算書とも照査がなされており、別途工事である電気設備工事、機械設備工事（今回調査対象外）との照合も行っている。

建物の残存利用可能期間を考慮し、外部に面する金属製建具やガラスの取り換えは行わないこととしていた。

空調の費用について、5 階のHCU病棟が同等の仕様であるため、ランニングコストを事前調査しており、維持管理コストも事前検討していた。

### (イ) 積算に関する書類について

積算基準、準拠図書、積算者（建築積算士）、発注者による照査手順及びチェック体制が事前に定められており、数量についても正確であった。

値入の方法について、刊行物、岐阜市単価、メーカー見積りなどの適用基準が定められており、適正に実施されていた。

医療機器などの価格についても、実勢価格を確認していた。

直接工事費に対する共通仮設費、経費についても、積算基準による工事価格に対する比率（%）となっていた。

(ウ) 施工管理に関する書類について

施工計画書、工程表を適正に整備していた。

請負者から発注者に提出すべき書類、現場代理人から監督員に承諾を求める書類・図書、工事中の隠蔽部の記録や監督員立会い状況の写真記録が適正に整備されていた。

(エ) 使用材料承認及び試験検査等に関する書類について

工事材料の確認は、使用材料承認手続及び施工計画書の承諾手続により適正に行われていた。

検査記録が整備され、工事打合せ会議事録に検査指摘事項及び是正の確認が記録されていた。

監理業務受託者である「株式会社 デザインボックス」の委託監督員の立会い確認記録の写真が整備されていた。

少量ではあるが、鉄筋、コンクリートの材料証明書、ミルシート、試験成績書や、塗料、防水材、ボードなどの証明書、認定書などが適正に整備されていた。

(オ) 契約に関する書類について

公告から入札までの見積期間、質疑書の提出及び回答状況、電子入札及び開札、高落札調査などの所定の手続が適正になされていた。

契約書、前払金保証証券、履行保証証券、監理技術者届、収入印紙、証書など、契約関係書類が適正に整備されていた。

ウ 現場調査

(ア) 工事施工状況について

仕様のとおり施工されていた。

スタッフ控室の一部に仮眠室を設けること、スタッフステーション前の廊下にある既存防火扉が防火区画変更の結果不要となるので、設計変更図を作成中であることなど、微細な変更を現在手続中であるが、その部分を除き設計図どおり施工されていた。

建築基準法、消防法に基づく避難、不燃、排煙、防火区画など、法令

に定められた設計書による施工を行い、区画などの写真も整備していた。

手動排煙設備である排煙窓オペレータを作動させてみたが、適正に排煙窓が作動した。

塗料などの保管場所を屋外とし、シンナーなどの溶剤は使用当日持ち込み持ち帰りとするなど配慮していた。

#### (イ) 安全管理状況について

建築内装工事がおおむね完了していたが、医療関係者、患者の動線と工事関係者の動線は完全に区画されていた。

工事エリアへの入口は1か所とし、靴を上履きに履き替えることにより、入場を管理していた。

現場には請負者の担当係が常駐し、作業内容を確認していた。

材料搬入時の誘導員の配置が計画されており、搬入車両の経路も適正に計画されていた（当日の搬入はなかった）。

### 5 本工事に係る契約事務

#### (1) 契約の方法

本工事に係る契約は、一般競争入札により締結されている。本工事の設計金額からすると、岐阜市一般競争入札等実施要綱第2条により、本工事に係る契約は、一般競争入札によることとされており、契約の方法は適正と認められる。

#### (2) 契約の締結

契約書には契約金額に応じた収入印紙が貼付され、消印されていた。その他関係書類も整備されていると認められる。

### 6 監査の結果

書類調査、現地調査並びに技術士の総評及び所見を踏まえ、監査を実施した結果、本工事は、適正に執行されているものと認められた。

工事の概要

- 1 工事名 岐阜市民病院重症患者管理病床整備第 I 期建築主体工事
- 2 工事場所 岐阜市鹿島町 7 丁目 1 番地
- 3 工事内容  
改修工事 既設鉄筋コンクリート造 11 階建の 3 階の一部 延 862.0 m<sup>2</sup>
- 4 設計委託 株式会社 デザインボックス
- 5 施工監理 株式会社 デザインボックス
- 6 工事費 請負金額 151,800,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）
- 7 入札 令和元年 5 月 15 日  
一般競争入札（総合評価落札方式 簡易型）  
（入札参加数 2 者、うち辞退 1 者、入札回数 1 回）
- 8 工期 令和元年 6 月 11 日～令和 2 年 2 月 17 日
- 9 受注者 株式会社 丸泰  
現場代理人：吉田 元樹  
監理技術者：吉田 元樹
- 10 工事進捗率 計画出来高 63.9% 実施出来高 75%（令和 2 年 1 月 15 日現在）
- 11 工事監督員 総括監督職員 岐阜市民病院事務局病院施設課  
副主幹 柴田 博成  
一般監督職員 岐阜市民病院事務局病院施設課  
主査 江崎 久朗